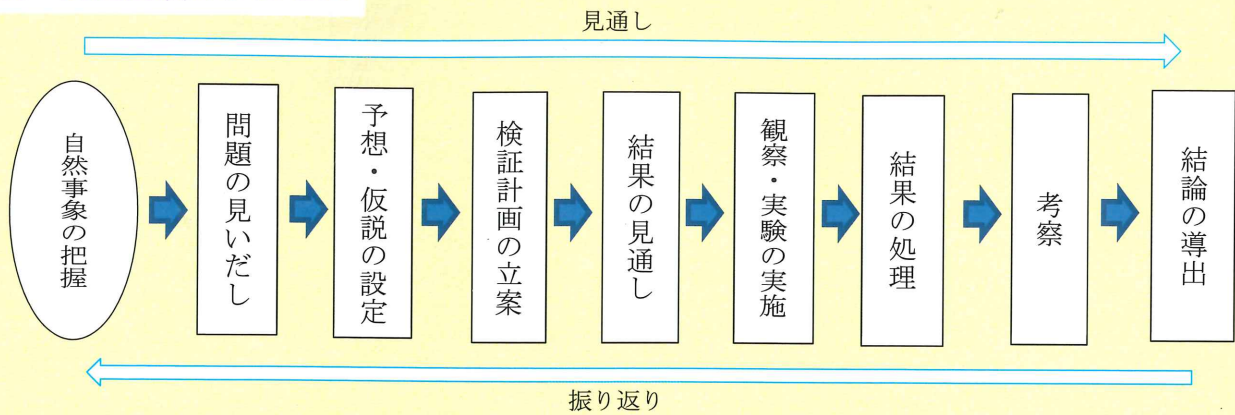


## 理科 問題解決のプロセス



### 【第3学年で育成したい問題解決の力】

- ・事象との出会いを工夫し、児童が関心・意欲をもって自然事象へ働き掛け、追究する中で、主に差異点や共通点を基に問題を見いだす力を育成する。

### 【第4学年で育成したい問題解決の力】

- ・観察・実験を通して追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を育成する。

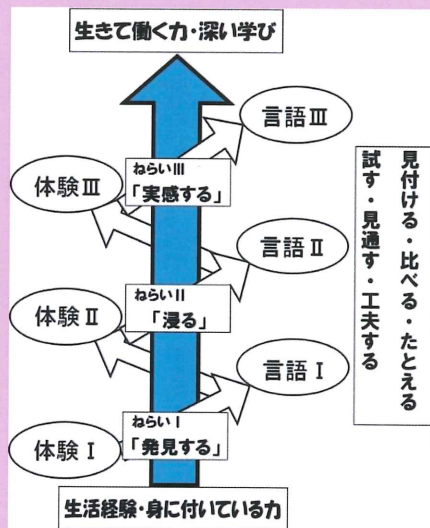
### 【第5学年で育成したい問題解決の力】

- ・自分が解決すべき問題について追究する中で、主に自らの予想や仮説を基に、見通しをもった解決の方法を発想する力を育成する。

### 【第6学年で育成したい問題解決の力】

- ・仕組みや性質、規則性及び働きについて追究する中で、主に「見通した結果」と「実際の結果」を基に、より妥当な考えをつくりだす力を育成する。

## 生活科



### 【知識及び技能】

- ・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

### 【思考力、判断力、表現力等】

- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

### 【学びに向かう力、人間性等】

- ・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

## 持続可能な社会づくりに向けた教育推進校及び活用力向上推進校（理科・生活科）としての取組

### ・授業改善に向けた取組

児童が各教科等で習得した資質・能力を様々な解決に生かすとともに、各教科等の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。

### ・教科等横断的な視点による組織的な取組

各教科等の特質に応じ、各教科等・学年を越えた組織運営の改善等を図り、教科等横断的な視点で組織的に取り組む。

### ・外部人材や地域資源等の活用

外部人材や地域資源等を計画的に活用し、教育内容と教育活動の充実を図る。

### ・他校や保護者・地域等への発信

研究発表を毎年度実施するとともに、研究冊子や指導案集の発行や有識者を招いた講演会の開催等、研究成果を他校や保護者・地域等へ発信する。